

## 2007年度 京都大学 前期文系 第1問(2)

**問題** 四角形 ABCD を底面とする四角錐 OABCD を考える。点 P は時刻 0 では頂点 O にあり、1 秒ごとに次の規則にしたがって四角錐の 5 つの頂点のいずれかに移動する。

規則： 点 P のあった頂点と 1 つの辺によって結ばれる頂点の 1 つに、等しい確率で移動する。

このとき、 $n$  秒後に点 P が頂点 O にある確率を求めよ。

N\_kyoto2007A\_61\_02.pbm